

# VLTを使用したCUCMトレースの読み取りと解釈

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco VLT のインストール](#)

[サポートされているプロトコル](#)

[Cisco VLT を使用する利点](#)

[Cisco VLT での分析](#)

[未処理の表示](#)

[詳細説明](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Voice Log Translator ( VLT ) ソフトウェアを使用して Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) のトレースを読み取る方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

CUCM について十分に理解しておくことをお勧めします。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCM バージョン 8.X 以降および Cisco VLT に基づくものです。

## Cisco VLT のインストール

Cisco VLT をサポートするには、x86 ハードウェア プラットフォームで動作する次のいずれかのオペレーティング システムが必要です。

- Microsoft Windows : Microsoft Windows 8、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 7 ま

- または Microsoft Windows Vista、XP、2003 または 2000
- Linux の場合 Red Hat Linux バージョン 9 および Red Hat Enterprise Linux AS バージョン 3.0

Microsoft Windows および Linux の両システム上で、VLT ソフトウェアはスタンドアロン アプリケーションまたはトレース コレクション ツールであるリアルタイム モニタリング ツール ( RTMT ) のプラグインとして実行できます。

このドキュメントでは、トレースを有効にして収集する方法については説明していません。詳細については、バージョン 7.x 用の [シスコ テクニカル サポート用の Cisco CallManager トレースの設定に関するドキュメントを参照してください](#)。これは、バージョン 8.x 以降についても適用されます。

Cisco VLT ソフトウェアは [Cisco ソフトウェア ダウンロード サイト](#) からダウンロードできます。

## サポートされているプロトコル

Cisco VLT ソフトウェアは次のプロトコルをサポートしています。

- H.225 および H.245
- Java Telephony API ( JTAPI )
- Media Gateway Control Protocol ( MGCP ) および Call Associated Signaling ( CAS )
- Q.931
- セッション記述プロトコル ( SDP )
- Simple Client Control Protocol ( SCCP )
- Session Initiation Protocol ( SIP )

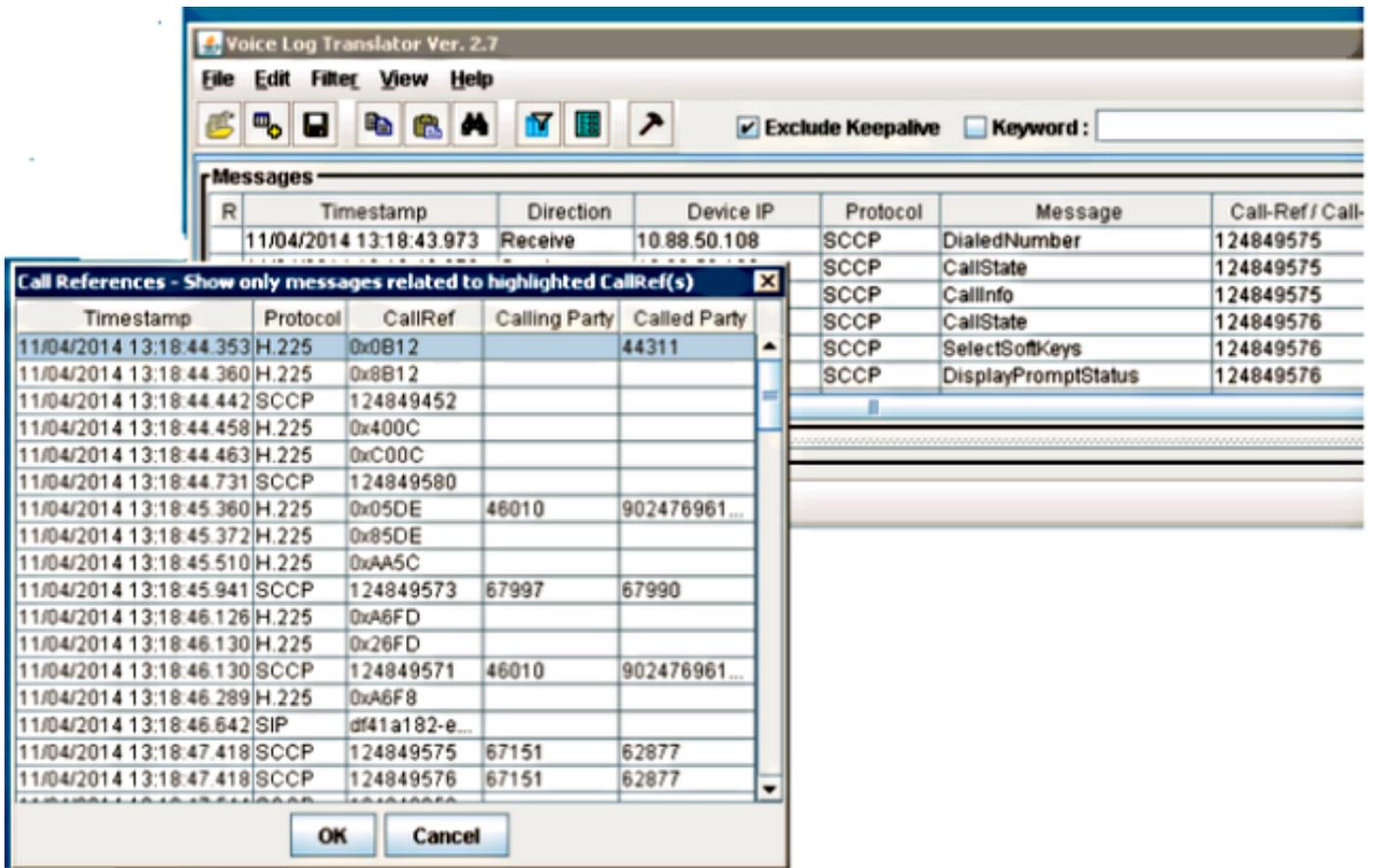
## Cisco VLT を使用する利点

Cisco VLT を使用することには次のような利点があります。

- メッセージは表形式で表示されます。
- ( コール参照で識別される ) 特定の通話に対して、または特定のデバイスの IP アドレス、方向 ( 送信または受信 )、プロトコル、コマンド、メッセージまたはチャネルを含むすべての通話のメッセージを表示できます。
- 指定した基準の通話のメッセージを表示できます。
- コール参照別にメッセージを表示できます。各メッセージには、表示タイムスタンプ、プロトコル、発信者番号および着信者番号が含まれています。
- 通話のデバイスの IP アドレス、方向 ( 送信または受信 )、プロトコル、コマンド、メッセージ、コール参照またはチャネルが保持するテキスト文字列のメッセージを表示できます。

## Cisco VLT での分析

Cisco VLT でトレース ファイルを開きます。タイムスタンプ、コール参照、プロトコル、または発信者および着信者番号のトレースの表形式の表示を次に示します。

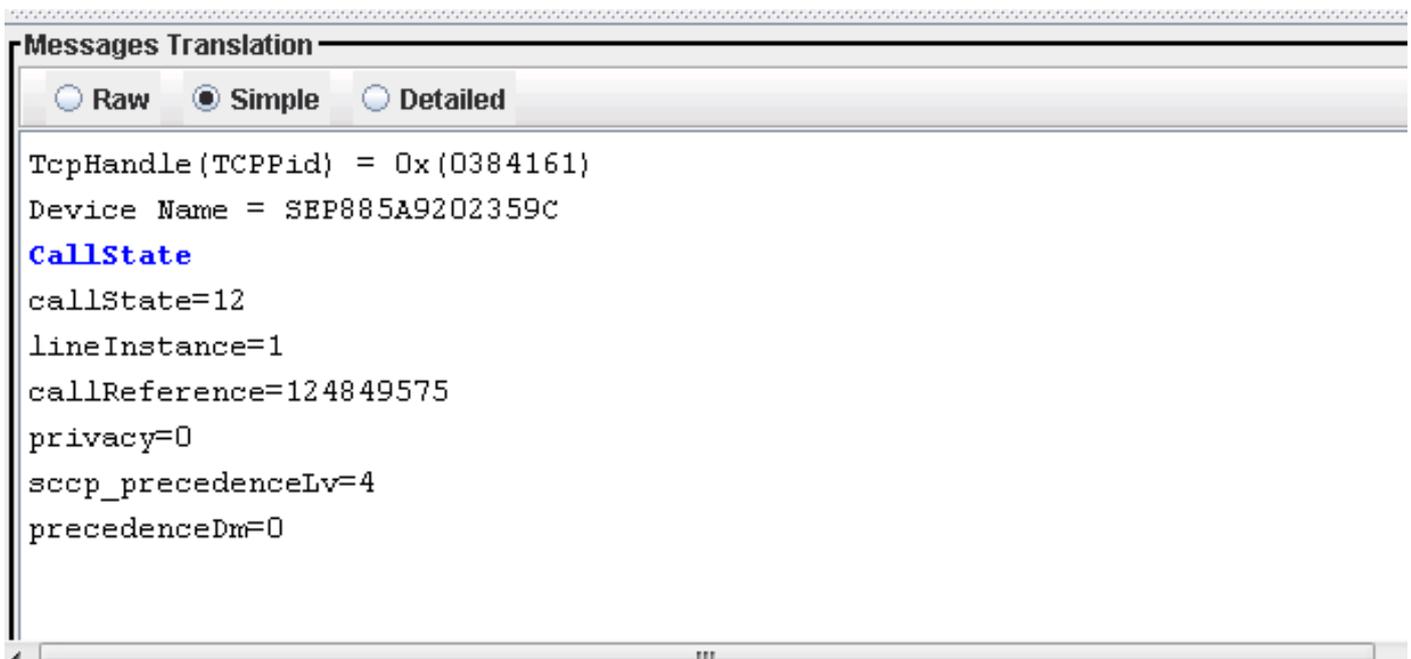


トレースは次のような表示設定で分析できます。

- 未処理：トレースのファイルの内容をそのまま表示します。
- 単純な変換：この表示はテキストを再編成し、単純な変換を行います。
- 詳細：この表示ではテキストが表示され、表示について詳細な説明を示します。

## 未処理の表示

トレースの未処理表示のサンプル スクリーンショットを次に示します。



## 詳細説明

同じテキストの詳細説明付きの表示を次に示します。

```
Messages Translation
   Raw   Simple   Detailed
TcpHandle(TCPPid) = 0x(0384161)
Device Name = SEP885A9202359C
CallState
callState=12
  -- Proceed.
lineInstance=1
  -- LineInstance is 1
callReference=124849575
  -- CallReference.
privacy=0
  -- Call privacy = 0
sccp_precedenceLv=4
  -- Call Precedence Level = 4
precedenceDm=0
  -- Call Precedence Domain = 0
```

SDP パラメータおよびその解釈の詳細説明を次に示します。

```

Messages Translation
   Raw   Simple   Detailed
a=A-NAC:0
  -- other attribute's name
m=audio 16386 RTP/AVP 0 8 18 101
  -- Media mode: audio service
  -- Transport port: 16386
  -- Transport protocol: RTP with Audio/Video Profile
  -----
  -- Based on the following codec:
  -- 0: The 8kHz PCMU codec
  -- 8: The 8kHz PCMA codec
  -- 18: The 8kHz G729 codec
  -- 101: (Dynamic)
a=rtpmap:0 PCMU/8000
  -- The encoding of dynamic audio formats: 8 kHz PCMU codec
a=rtpmap:8 PCMA/8000
  -- The encoding of dynamic audio formats: 8 kHz PCMA codec
a=rtpmap:18 G729/8000
  -- The encoding of dynamic audio formats: 8 kHz G729 codec
a=fmtp:18 annexb=no
  -- other attribute's name
a=sendrecv
  -- The type of connection: both send and receive
a=rtpmap:101 telephone-event/8000
  -- The encoding of dynamic audio formats: 8 kHz telephone-event codec
a=fmtn:101 0-15

```

H.225 設定の詳細説明を次に示します。

11/04/2014 13:19:03.504	Receive	10.102.235.247	H.225	SETUP	0x8671	
-------------------------	---------	----------------	-------	-------	--------	--

---

```

Messages Translation
   Raw   Simple   Detailed
00 02 00 16 03
  -- SETUP, pd = 8, callref = 0x0B12

Information Element(s)
04 03 80 90 A3
  -- Bearer Capability i = 0x0800900A3, ITU-T standard, Speech, Circuit mode, 64k, A-law
28 0A 41 6E 6F 6E 79 6D 6F 75 73 20
  -- Display i = 'Anonymous '
6C 02 00 A0
  -- Calling Party Number i - Plan: Unknown,Type: Unknown, Presentation Restricted,User-provided, not screened
70 06 80 34 34 33 31 31
  -- Called Party Number i = '44311' - Plan: Unknown,Type: Unknown
78 00
  -- User-User i = 0x502008060809104A0402800B500012040103C51000EFC002402D06305B0110E40BF50BB0B608A09305F08300CD01D082070A
1080

```

注：詳細については、『[Cisco VLT ユーザ ガイド](#)』を参照してください。